

# 北医療生協 50周年!

## 北医療生協の生みの親?! 発起人の みなさんに話を聞きました。

私たちの北医療生協が誕生して今年で50年を迎えます。50年前の上飯田はいったいどんな町だったのか。設立当初から支えていただいている組合員さんを囲んでお話をうかがいました。

### 設立の運動に参加して

名北医療生協(現北医療生協)結成の三年前に名北共同保育所が下飯田町の民家の一室に開所しました。

当時三才未満児の保育所は皆無に等しく、大東紡織名古屋工場(北区織部町)に働らく女性を中心に地域の人たちと共同で産休明け保育所をスタートさせました。保育者(保育短大新卒者と子育て中の母親)も手さへりでした。

赤ちゃんたちの健康づくりは、当時南生協病院小児科の堀江重信先生たちに援助をいただき、共同保育所の保育者は学んできました。そんな頃北区にも民主的な診療所をつくる運動が始まりました。私たち共同保育所の親や関係者は心おどらせ、私も診療所設立発起人にも加わり、総出で運動に参加しました。数人で始まった診療所づくりに多くの人が参加し、土地を探し建物をつくり、先生もみつかって診療所完成の時の喜びは夢のようでした。共同保育所の子どもたちの健康診断や予防接種などは濱田先生たちが保育所まで来て下さりどんなに心強かったか。その後共同保育所は当初の診療所の建物を買い取って認可保育所としてスタートし

### 医療や介護を

### 「私たちのものに」

幸いにも、北医療生協ができた頃のお話をつかがう機会に参加することができました。「私たちの診療所を作ろう」という熱意が北医療生協を創ったということを変更して知りました。今、医療や介護の現場が厳しい状況になっています。このような

ました。みんなの力で一九七三年に本市政を誕生させ保育行政も大きく前進し、公立保育所も増設されました。診療所も北病院となり施設もふえ大きくなり現在に至っています。市民が安心して暮らせる街づくりにみんなで大きな力を発揮していきましょう。



発起人  
小川 志寿恵さん



時こそ、医療や介護・福祉を『私たちのものに』取り戻さなければなりません。先輩方のお話を聞きながらそう思いました。

お忙しい中、集まってくくださり、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。うございまして。



50周年実行委員  
山本 朋子さん